

2015年度
学校関係者評価委員会
報告書



学校法人 大和学園
京都製菓技術専門学校

I. 学校関係者評価委員会の目的

委員会は、本校が経営の現状と課題について適切に把握し、教育活動その他学校運営の改善を的確に行おうとしているかについて、自己評価の結果に基づき客観的に評価することを目的とする。(京都製菓技術専門学校 学校関係者評価委員会規則 第2条)

II. 2015年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日 時 2015年 8月 4日(火) 13時35分～14時35分
2. 場 所 京都製菓技術専門学校 801教室
3. 出席者 委員長 影山 弘典 (学校法人大和学園 評議員)
委 員 渡邊 登 (有限会社五感 北浜本館 総支配人)
委 員 長岡 末治 (株式会社デリチユース 代表取締役)
委 員 細田 実 (株式会社オーボンパン ビゴの店 代表取締役)
委 員 塩貝 祥代 (株式会社老松 嵐山店 店長)
委 員 野村 麻記 (京都製菓技術専門学校 卒業生)
事務局 鮫島 孝宏 (京都製菓技術専門学校 校長)
事務局 奥村 知史 (京都製菓技術専門学校 教務部長)
事務局 小山 美幸 (京都製菓技術専門学校 教務部)
4. 議 事 I. 自己評価結果について
II. 自己評価結果の学校関係者による評価について

III. 評価委員からの評価および意見

評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する対応および改善方策
評価 項目	(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営	
	<ul style="list-style-type: none">・理念が洗練されている。今後も継続してほしい。・実際に学生を採用する中で、掲げられている理念が、学生の行動にしっかりと反映されていると思う。・卒業生として本校で学んだ立場として、特にホスピタリティ精神は卒業後も、実践できるため役立っている。	<ul style="list-style-type: none">・体系化した理念のもとで、今後も、適正な学校運営を継続する。

<ul style="list-style-type: none"> ・現状の理念、考え方のもとに、学校運営を継続いただきたい。 		
<p align="center">評価委員からの評価および意見</p>		<p align="center">評価委員からの意見に対する対応および改善方策</p>
<p>評価項目</p>	<p align="center">(3) 教育活動</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・入職後は、希望と違った部門でのスタートになる場合もあるが、作る楽しみはその先にあることを在学中に指導できれば、入職後のギャップは縮められるのではないか。 ・2年制学科の校外実習は、長期間1事業所で行うより、複数の事業所を体験させた方が、学生にプラスのなるのではないか。 ・成績評価に最終評価のみならず、プロセスの評価を加えるなど、多面的に評価する仕組みを取り入れてはどうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の方を招聘し、現場の声を聴講する機会を増加させるとともに、今後は、卒後教育にも力をいれていく。 ・現在は、校外実習とは別に休暇期間中のインターンシップを活用し複数の事業所を経験している学生もいるが、今後は校外実習での複数事業所経験も実施できるように設えたい。 ・多面的な視点での評価も検討していきたい。
<p align="center">評価委員からの評価および意見</p>		<p align="center">評価委員からの意見に対する対応および改善方策</p>
<p>評価項目</p>	<p align="center">(4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・精神的な脆さから、やりがいを感じる前に退職する者が年々増加している。早期離職防止に向けた卒業後のフォローはどのようなものをおこなうのか。 ・仕事で必要、不要を区別する者もいるが、不要な仕事はない。単純な業務でも何のためにおこなっているのかを考える力を養うよう、試験等の結果のみならず、プロセスを大切にし、その過程で気配り等も学生に学んでほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ校の事例も活かし、就職後1～2年目の卒業生を招き、セミナーや懇談会を開催するなどフォローを実施していきたい。

<p>・卒業後年数が経過すると、同業で勤務している同級生が少なくなる。相談相手がいずに退職をする者もいるため、相談できる人や場所の提案を学校からしていただけるとありがたい。</p>		<p>・来校する卒業生には教職員が都度体対応しているが、ホームカミングデーの実施等、学校に来校しやすいイベントも検討したい。</p>
<p>評価委員からの評価および意見</p>		<p>評価委員からの意見に対する対応および改善方策</p>
<p>評価項目</p>	<p>(7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守</p>	
<p>・学校における法令遵守はもとより、就職先事業所側も労働基準を守っていただかなければならないと感じる。仕事を少しでも早く覚えたい者にとって意欲を妨げる結果とならないようにはしなければならない。</p>		<p>・今後も模範となるよう、法令遵守を徹底していく。</p>
<p>評価委員からの評価および意見</p>		<p>評価委員からの意見に対する対応および改善方策</p>
<p>評価項目</p>	<p>(10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流</p>	
<p>・卒業後、日本で働きたい留学生もいるため、製菓業界で就労できれば、さらに留学生も増加すると思われる。</p>		<p>・留学生を取り巻く環境は、今後とも変化すると思われるため、就労に関する情報等もしっかり情報収集をおこなっていきたい。</p>